



令和7年度 松本市立波田小学校グランドデザイン

学校教育目標：まつかぜ

「ま」学び合おう 「つ」つながろう 「か」語り合おう 「ぜ」全員が
～にこにこ、ワクワク、明日も来たくなる波田小～

○学都松本のシンカ「子どもが主人公」

○波田教育一貫目標

みんなと ふるさとへの愛を深め
夢を広げ 手を取り合って
生き抜く力をつけよう



【めざす学校像】

多様性を受容し、やってみたいこと、挑戦したいことが実現できる学校



自分の考えや気持ちの変化を言葉(自分の方法)で伝え合う

「やりたい」からの学び

ねばり強い追究

「できた」「わかった」喜び

実体験を積み重ねる

自己肯定感の高まり

興味・関心の広がり

思いを言葉(自分の方法)にする

ききあい、語りあえる

相手意識の高まり

【“ま”なびづくり ～思考を深める～】

子どもが自ら見つけたり気づいたり感じたりする
ことができる活動づくり

(素材・教材)

【“つ”ながりづくり ～視野を広げる～】

地域の方々や学校内外の人との交流を通して
楽しさを共有する活動づくり

(連携・場)

【対話づくり ～自分を“か”たる～】

理由や根拠をもって考えを伝え合える(対話)
活動づくり(アウトプット、フィードバック、
リフレクション＝発信、感想、内省)

“ぜ” んいんが＝多様性を受容する子ども理解

地域に学び、地域とともに歩む：日常でのかかわり(授業・給食ボランティア、見守り下校など)、ふるさと学習(福祉交流、波田の文化と歴史探検など)